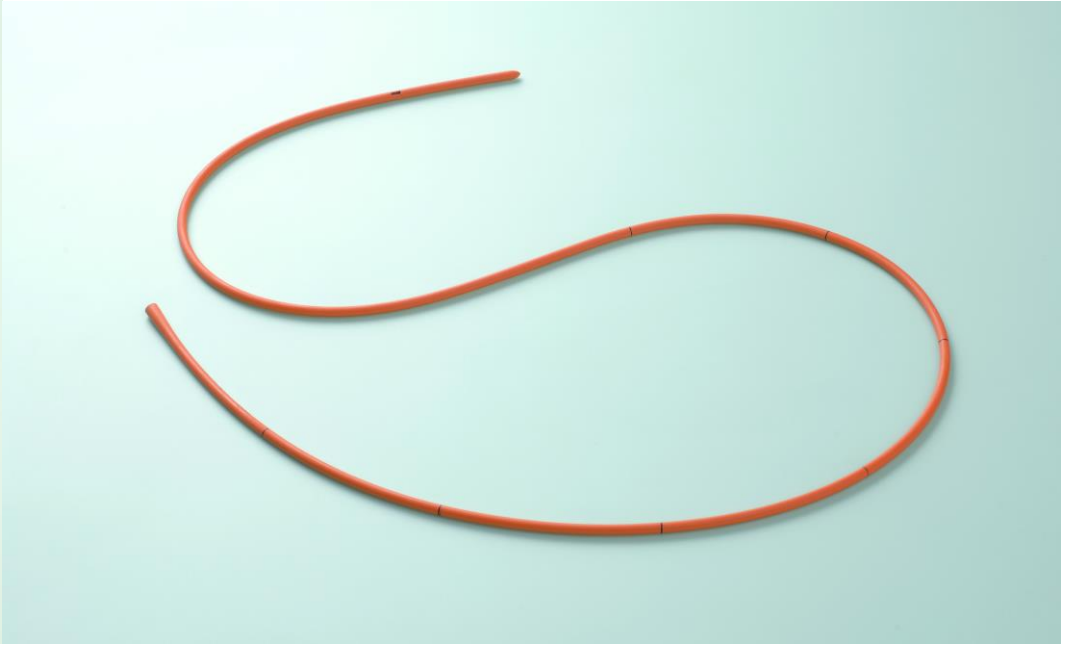
ザ ヘルス 栄養カテーテル(旧規格)

※新規格(ISO80369-3)の経腸栄養投与セット等に接続する場合には、変換コネクタが必要になります。



■管理医療機器　■一般的名称:食道経由経腸栄養用チューブ　■JMDNコード:16798000　■再使用禁止
■材質:天然ゴム製　■生 物 由 来 物:非該当　■保険償還区分:請求不可　■未滅菌品

特　徴

- 経口経管栄養法(IOC法、OE法)に適したカテーテルです。
- 素材が柔軟なため、皮膚や粘膜に当たってもソフトな感じです。
- 天然ゴム製のためトルクや腰があり、ガイドワイヤー無しでも入れ易いカテーテルです。

サ イ ズ

タイプ	形状
標準型	穴形状:ネラトン穴 1、側孔 1 全長:1220mm
今永式	穴形状:先穴 1、側孔 13 全長:1220mm

■標準型

製品番号	JAN コード	呼称	サイズ	包装単位	標準小売価格(円)
H-CFS103N	4995407102449	No.3	外径 3.5mm×1220mm	1 本/袋 10 袋/箱	3,030/袋
H-CFS104N	4995407102456	No.4	外径 4.5mm×1220mm		2,640/袋
H-CFS105N	4995407102463	No.5	外径 5.0mm×1220mm		
H-CFS106N	4995407102470	No.6	外径 6.0mm×1220mm		

※標準小売価格には消費税を含んでおりません。
※＊印は受注生産品になります。

操作方法

・滅菌前に水洗をすること。アスピレーター等を用いて内部に勢いよく水道水を通すと、なお良い。
・完全に乾燥させる。
・本品は未滅菌品である。必ず高圧蒸気滅菌（121℃、15 分間）または医療機関で使用されるエチレンオキサイドガス滅菌装置により、EOG滅菌（450～1000mg/L濃度のエチレンオキサイドガスを使用 、滅菌 2 時間 70℃未満、加湿下、エアレーションは使用前まで 24 時間以上 70℃ 未満）を行った上で使用すること。また、両方の滅菌方法とも、インジケーター等を用いて滅菌効果を確認しながら実施すること。
・1回限りの使用で使い捨て再使用してはならない。

栄養補給としての使用方法

1. カテーテルに滅菌（EOG 法又は高圧蒸気滅菌法）を施す。
2. 患者の体位は、可能であれば座位、又は 45 度程度上半身をおこした半座位が適する。
3. 患者の姿勢は、頭を前に出して顎を引くようにする（カテーテル先端が食道の入り口方向にきやすくなるため）。
4. カテーテルの長さの目安（マーク）を付ける：耳から顎を通り、剣状突起までをカテーテルでなぞる（成人で 45cm～55cm 程度）。
5. カテーテルを水等で濡らして滑りを良くする。
6. 鼻孔から 60～70 度の角度で、カテーテルをゆっくり優しく挿入し、嚥下運動をしてもらいながら、目安（マーク）の位置までカテーテル先端を挿入していく。
7. 挿入後、カテーテルの先端位置確認を実施する。
   方法 1：胃液の吸引　　方法2：気泡音の聴診
8. カテーテルと経腸栄養輸液セットを接続し、栄養バッグやイルリガートル等に液状栄養剤等のミールを入れる。
9. クレンメを緩めてミールを落とす。この時、肺に注入されていないか患者の様子を観察し適切な速度で注入する。
   ミール滴下終了後は、微温湯等を適量投与して、経腸栄養輸液セットチューブ内を洗い流す。
10. カテーテルをゆっくり引き抜く。

主要文献

（1）都筑正和 監修.消毒剤の使い方 4 消毒の実際：医歯薬出版.殺菌・消毒マニュアル,66・97,2000
（2）松永佳世子、矢上晶子.ラテックスアレルギー安全対策ガイドライン 2006 誕生編および皮膚科編：日本ラテックスアレルギー研究会会誌 vol.10 №.1,32-40,2006
（3）木佐俊郎、酒井康生、岡野一亮、 岩成正恵.「脳卒中患者の摂食・嚥下障害における間欠的口腔カテーテル栄養法（IOC)と胃瘻の使い分け－経口摂取転帰と胃排出能の比較－」：脳卒中 32(1): 41-47, 2010.
（4）木佐俊郎、景山省次.「リハサイドからみた胃瘻の現状と課題」：JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION 17(9): 840-846, 2008.
（5）木佐俊郎.「間欠的口腔カテーテル栄養法」：JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION 14(7): 653-655, 2005.
（6）木佐俊郎.「摂食・嚥下障害と PEG」：臨床栄養 106(3): 327-333, 2005.

使用上の注意

●この製品は天然ゴムを使用しています。天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、適切な措置を施して下さい。
●この製品は医療機器です。取扱いについては教育された医療従事者が適切に行って下さい。
●この製品は未滅菌タイプですので、必ず滅菌をした上で使用して下さい。
●この製品の使用に際しては、この製品の使用目的のみとし、他の目的に使用しないで下さい。
●再使用はしないで下さい。
●万一この製品にキズ、異物、劣化などがあった場合は、無理に使用せず、弊社までお問い合せ下さい。
●直射日光、高温多湿、水ぬれを避けて冷暗所に保管して下さい。

取扱店

製造販売業者　株式会社イズモヘルス
URL　https://www.izumo-health-t.com
■本　　社　長野県安曇野市明科七貴 6057 番地（〒399-7104）
TEL　0263-62-2392　FAX　0263-62-4548

2025.4.1　WEB